



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2022年月6月 フェアテーマ



『問題が問題だ！』

ヤングアダルトの新刊図書が出る度に、ヤングアダルト世代の問題の多さに気づかされます。いじめ問題、貧困問題、ヤングケアラー問題、人種の問題、ジェンダー問題、そして環境問題。大人だって大変な時代、でも大人以上にヤングアダルト世代は大変なんです。だって勉強があるから、立ち止まっていられません。でも、少しずつでも解決していきたいですね。解決を目指しましょう。



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

6月フェア『問題が問題だ!』おススメ本をご紹介

『学校! 高校生と考えるコロナ禍の365日』 コロナ問題

桐光学園中学校・高等学校監修 左右社 2021.11 /376.4/加

公演中止に泣き崩れる合唱部、マスクを取ったクラスメイトの顔に驚く高校2年生、教科書400箱を発送する学年主任…。神奈川県桐光学園中学校・高等学校の先生・カウンセラー・生徒・保護者がコロナ禍の1年間を振り返る。



『2050年の地球を予測する』 環境問題

伊勢武史 筑摩書房 2022.1 /519/1/

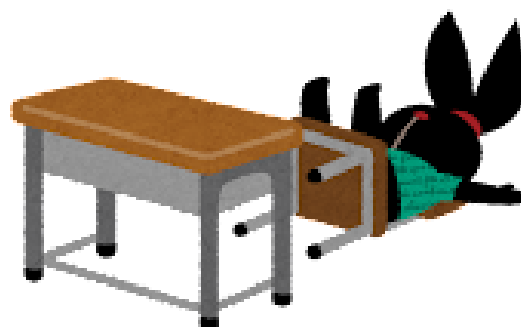
異常気象がほぼ毎年!? 伝染病が拡大、シロクマが絶滅する!? そうなる前に、ほんのわずかな兆候に気づき、対策することが大事。公害など環境科学の基礎知識から、地球温暖化で起こる未来とその対策までを解説する。



『なぜ親はうるさいのか』 家庭問題

田房永子 筑摩書房 2021.12 /367/夕

親が過干渉になる仕組みを、子ども・大人・母親の立場から徹底究明。40年闘い続けて見えてきた「あの時の親の言動の意味」と、親との関係で悩みを抱えている中高生に心得ておいてほしいことを漫画で描く。



6月フェア『問題が問題だ！』おススメ本をご紹介



『あの頃世界のすべてだった学校と自分への呪いにさよならするまで』

もつお KADOKAWA 2021.12 /726.1/¥/ いじめ問題

いじめを受けた人間は、一生その過去を背負って生きていかなければいけないのか。小さな学校、小さなグループ、小さな人間関係…。目に入る世界があまりにも狭かった学生時代の呪いと、そこからの解放を漫画で描く。



『14歳から考えたい貧困』 貧困問題 /368.2/¥/

フィリップ・N.ジェファーソン すばる社 2021.12

近年、先進国でも深刻かつ身近な問題となっている「貧困」。世代をこえて伝わる貧困の「負の連鎖」を断ち切るには、どうすべきか？ 歴史的背景から国際的な取り組みまで、グローバルな視点で考察する。



『14歳から考えたいレイシズム』 人種問題

アリ・ラッタンスィ すばる舎 2021.6 /316.8/¥/

「いまも」「どこにでも」ある<レイシズム=人種主義>の問題。“人種”という実はとらえどころない“ものさし”で、あちこちに“壁”をつくって対立してきた世界史をひもとき、人間存在のありようと未来を問う。



6月フェア『問題が問題だ！』おススメ本をご紹介



『マイブラザー』 ヤングケアラー問題

草野 たき ポプラ社 2021.11 /913/㍿/

わんわんと大声で泣いて、ひっくり返って、足をばたつかせて、誰かを思いっきり困らせてみたい。14歳だって、5歳児みたいに…。イクメン中学生の、悩める日々とめざめを描いた書き下ろし成長小説。



『ブラザーズブラジャー』 ジェンダー問題

佐原 ひかり 河出書房新社 2021.8 /913.8/㍿/

父の再婚で、新しい母・瞳子さんと弟・晴彦と暮らすことになった高校1年生のちぐさ。ある日、晴彦がブラジャーを着けているところに遭遇し…。「きみのゆくえに愛を手を」を改題した表題作に、「ブラザーズ・ブルー」を併録。



『支える、支えられる、支え合う』 人権問題

サヘル・ローズ 岩波書店 2021.11 /369/㍿/

学校でいじめを受けた経験を持ち、現在は難民キャンプの子どもたちへの支援を行っているサヘル・ローズが自らの体験をたどりながら、他者を思いやり、寄り添うことの大切さを伝える。子どもの支援に携わる人々の活動も紹介。

